

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。
(メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労

CTG とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820) 8644 (代)
fax 03 (3820) 8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる (〒60円)

12月14日 春闘討論集会開催!

12月14日(日)、都本部15春闘討論集会在東京トラック健保会館で開催され、51名が参加しました。

松田委員長からの主催者あいさつを経て、中央本部廣瀬書記長より「春闘を取り組む意義について」と題して記念講演が行なわれました。春闘の成り立ち、現在の労働

者を取り巻く情勢や要求をくみ上げて闘うこと、組員拡大を迫り、学習に力を注いでいく必要性、政治闘争の推進は労働運動の要であること、全ての職場で要求討議を行い要求書を提出すること、要求アンケートの集約を進めること、全ての仲間が建交労に入っている良かったと思える組織にしてい

うという講演内容でした。都本部15春闘方針第一次案の提案で、都本部財政登録が千名を切るなかで、組織拡大・建設のあり方を総点検し、都本部8つの課題を15春闘で一步でも前進させることが必要であることや、自分たちの要求を実現していくにはまず10万人アンケートをやりきる

事の大切さを強調しました。都本部は12月10日現在で、1491人分のアンケートを集約しており、12月10日現在、昨年のペー

スと比べて169人分集約数が増えています。アンケートをより多くの労働者から集め、集約後はアンケート結果を研究し、要求討議や要求作りに大いに活かしましょう。また、要求作りにおける「ワー

クライフバランス(仕事と生活の調和)の大切さについて触れました。運輸・建設共に過労死・労働

災害の発生率が高い職種が集まる労働組合であることを踏まえ、どう

過労死・労災を根絶していくか、引き続き各業種・職場で議論を深

めて頂きたいと思えます。そして、春闘の要求は、賃金だけでなく待遇改善の要求について積極的に進める事が大切です。

質疑・討論では10名の仲間からの発言がありました。この間、都本部では春闘討議会を限らず、全ての集合において報告発言だけでなく、方針についての発言をお願いして来ましたが、当日は多くの方に、方針についての発言を頂きました。昨年よりも参加者数は減少していますが、中身の濃い討議集会成为っています。

来年、2月8日(日)に行われる都本部委員会では、より多くの仲間と、要求実現に向けた方針を深めるための討論・議論を行いたいと思えます。是非、皆さんのご参加をよろしくお願ひ致します。

【都本部書記長 遠藤 晃】



15春闘の方針を提案する遠藤書記長



団結頑張ろう!



講演される廣瀬中央書記長

島中 博資

ダイワドユニオン分会管理職



団体交渉が実現し、60歳定年後の継続雇用を勝ち取るなど

成果が出た。しかし、経営者が団交に出席せず不誠実なまま成果主義賃金が導入されようとしている。「争議団」の位置付け並びに定義について、公的機関(労働委員会、裁判等)で勝

西田 修一

中西支部 執行委員長



11月に建設首都圏共闘が、不動産協会との懇談を初めて

実現し、大きな前進となった。15春闘の賃上げ闘争について、第1段階は生計費原則。第2段階は職場内で、実際にいくら獲得出来るかの目標設定を明らかにする。第3段階は生計費原則に基づく要求額と、職場内での

斉藤 芳和

三多摩トランスポート分会執行委員長



組織拡大以前に、サポート体制等、組織を構成する組合員

を大切に取る取組が重要と考える。人間同志の信頼関係を、どう築くかにかかっている。上部団体は、下部組織から情報が上がって来るのを待つスタイルではなく、上部自ら情報を掴む、コミュニケーションを構築する

岩山 真一

北分会 執行委員長



現在、非正規労働者が増え、年収も200万に満たない。70歳前後

の高齢者事業団でさえ、期限付の雇用契約にはなっていないことを考えると、今の大企業は酷過ぎる。15春闘は、正規・非正規に係わらず、働く全ての労働者を対象とした方針を。事業団の活動では、行政への要請行動について、粘り強く毎年行うこと、大衆的に行うことが大切

笹原 和樹

東京建設関連部会 事務局長



部会には建設業界の11業種が属して

に分断された技術者を要求実現へ向けた大同団結に結び付けるには、業種別の賃金を研究し、目標値として設定する事が重要ではないか。春闘第2派について、日本の公共事業における工事費の支払いが「出来高」ではなく「完成時」である事が春闘を第1派の時期にスタート出来ない要因となっている。第2派と並行して、改善に取組みたい。

林上 博之

東部支部 書記長



運動方針の中の「職場では組織を立ち上げない」という文言は誤解

を招くので表現を工夫するべき。又、抽象的な方針ではなく、例えば過去に行って来た職場オルグ等の運動に対する総括をし、今年の行動に反映させる等、過去の運動から今の到達点を踏まえた、具体的な方針の提起をお願いしたい。未組織労働者への接触、労働相談への対応、個人加盟の組合員の活動母体をどう確保するか等の課題について検討すべき。

佐々木 仁

京王新労組支部 執行委員長



京王新労組の争議に対する、日頃の皆様の御支援に、心か

ら感謝申し上げます。連合労組は、資本の言いなりで闘わない。そうではない、闘う建交労の皆さんは運動に確信を持って、15春闘を迎えましょう。引き続き、皆様の御支援をよろしくお願い致します。【京王電鉄本社前新春宣伝行動】2015年1月9日(金) 17:00~18:00 京王電鉄株式会社本社前(京王線聖蹟桜ヶ丘駅東口)

本間 謙二

日通液体輸送分会 執行委員長

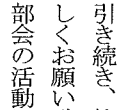


日通液体輸送分会の解雇撤回争議について、日頃の皆様の御支援に心

から感謝申し上げます。建交労

水淵 信次

鉄道東京地本 執行委員長

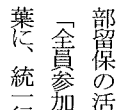


組織拡大について、今年、環境アクセス

名、11月に2名拡大。15春闘について、組合員がアンケートに回答するだけでなく、1人が10名以上と会話する事に挑戦する。執行委員会で取組み方の工夫について、討議をする予定。大幅賃上げ、雇用の改善こそ経済再生の鍵だというキャン

宮本 禮二郎

東京事業団高齢者部会 事務局長



高齢者事業団の春闘は、東で鉄道東京

がストを打つとなれば駆け付け、西で京王新労組がストを打つとなれば駆け付ける。応援だけではなく「参加」で支援を実施します。全国的に建交労に属する高齢者団体が、シルバー人材センターに進ずる団体として認定をされ始めている。東京都でも実現へ向けた取組みを継続したい。昨年6月に厚生労働省が発表した就労に関する検討書の中で、連携すべき団体として高齢者事業団が明記された。今後も要請行動を進めたい。

組合掲示板

- 12月25日(水) 8時半~京王新労組 中労委前宣伝行動 10時~京王新労組中労委
- 2015年
- 1月6日(火) 18時~東京地評旗びらき ベルクラシック東京
- 1月9日(金) 17時~京王電鉄本社前新春宣伝行動 京王線聖蹟桜ヶ丘駅東口
- 1月10日(土) 14時~都本部旗開き トラック健保会館
- 1月14日(水) 11時~春闘宣言行動・経団連前行動/厚労省前
- 1月15日(木) 18時~日通液体輸送分会 東京都労働委員会/第一庁舎34階
- 1月22日(木) 10時半~東京労働局交渉
- 1月27日(火) 18時15分~国民春闘総決起集会/なかのZEROホール
- 1月31日(土) ~2月1日(日) ~建交労 第16回中央委員会
- 2月8日(日) 10時~都本部委員会 トラック健保会館

